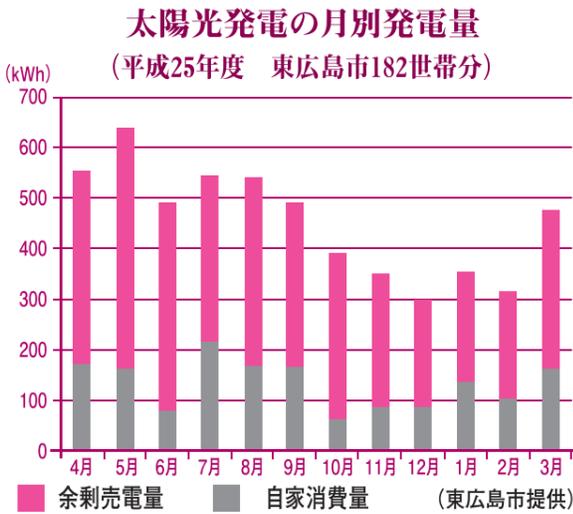


家庭の使用電力量以上を発電 住宅用太陽光発電の発電能力



今回は、実際の発電能力について一般的に利用される「設備利用率」を使って紹介しま

す。設備利用率は、1年間、常時フルパワー稼働を100%とし、実際に何パーセント稼働するかを示すものです。

広島県の再生可能エネルギー
④ 設備利用率

設備利用率の計算式

$$\text{設備利用率}(\%) = \frac{\text{年間発電電量}(\text{kWh})}{\text{設備容量}(\text{kW}) \times 24 \text{時間} \div 365 \text{日}} \times 100$$

平成25年度に広島県内で設置された住宅用太陽光発電の平均設備容量は、4.61kWです。

実際の発電能力は、1年間、常時フルパワー稼働を100%とし、実際に何パーセント稼働するかを示すものです。

設備利用率は、1年間、常時フルパワー稼働を100%とし、実際に何パーセント稼働するかを示すものです。

設備利用率は、1年間、常時フルパワー稼働を100%とし、実際に何パーセント稼働するかを示すものです。



歯の数は長寿が関係することをご存知でしょうか？歯の数が多く残っているほど、平均寿命が長くなるという報告です。その間、皆さんの周りにいる元気な高齢者を思い浮かべると、何でも好きなものをよく食べ、活動的な姿が目につくかぶるのではないのでしょうか。20年以上前から続く「80歳に

なっても20本以上の歯を維持しよう」という8020(ハチマルニマル)運動の実施により、高齢者の残存歯は着実に増加し、2014年に公表された日本

ができればいいのですが、残念ながら「健康寿命」という健康で何でも自力で生活できる年齢は男性71・19歳、女性(74・21歳)となっており、平均寿命までの約

肉減弱症)が挙げられ、これらは栄養状態やオーラル・フレイル(口腔の機能の虚弱化)と関係していることが分かっています。肉や魚などの筋肉の元となる

歯周病や虫歯の予防には、日々のブラッシングによるセルフケアと、定期的な歯医者さんでのプロケアが重要です。歯が残っていると、噛む筋肉や舌の力、飲み込みなどの口全体の機能が維持されることがわかっています。日常生活の中で「噛みづらい食品が増えた」、「むせ

やすくなった」、「唾液が少なくなった」などの徴候は、オーラル・フレイルの始まりかもしれません。若い頃からサルコペニア予防に重要なオーラル・フレイル予防を意識して、お口のわずかな変化を意識することが、将来の健康長寿の秘訣かもしれません。

元気の原動力は「歯」 オーラル・フレイル予防を

サンスター株式会社オーラルケア事業部 研究開発部 商品開発グループ 犬伏 順也

人の平均寿命も男性(80・50歳)、女性86・83歳)となり、日本は世界有数の長寿国となっています。

10年間は虚弱や寝たきりの状態で介護を受けながら生活する期間が存在します。虚弱や寝たきりの原因の一つは、転倒

タンパク質を摂取することが、虚弱や寝たきりの予防につながるため、お口の機能の維持は筋肉の維持に重要な役割を果たしています。



●前歯磨きのアドバイス
・ハグキが健康な方は、ハブラシを直角にあてる方法を。
・ハグキが弱っている方など歯周病対策には45度の確度であてる方法がおすすめ。
弊社HPで紹介しております。
<http://jp.sunstar.com/useful/usage/brushing/>

我がまちの公衛協④



所属：坂町公衛協
お名前：縫部 洋耀
公衛協歴：10年目
会長歴：5年目
世帯数：5,619世帯
推進委員数：24人

幹部を中心に広がる環

自然環境を息長く守る

公衛協のPRや情報交流のきっかけとなるよう、市町公衛協会長に「わがまち」で力を入れている取り組みやその成果についてインタビューし、県内26公衛協の魅力をお伝えします。

Q1 力を入れている活動

坂町が誇る自然環境「青い海・緑の山」を守っていくため、息長く活動を継続できるよう『人材育成』に力を入れています。推進委員全体の力量を底上げすることで、新しい活動の展開や既存事業の見直しにつながり、その結果として、地域の環境づくりや健康づくりにつながります。

また、安芸郡4町でつくる海田地域公衛協では、「わが町」だけでなく、海田地域全体でまとまって公衆衛生の推進に取り組んでいることも特徴のひとつです。

Q2 活動成果

美化活動など、歴史的な事業が継続・発展しながら実施できていることや、久しぶりに水辺教室の復活がなかったことが挙げられます。また、新たに海辺教室を実施し、里山教室の実施の検討をするなど、委員からさまざまな意見があり、実践活動につながっているため、成果を感じます。

Q3 苦労した点と解決策

中核となる幹部の育成を考えると、推進委員や役員の任期が課題です。また、推進委員の自覚を持って活動に参加してもらわなければなりません。そこで、強いリーダーシップでぐんぐん引っ張るのではな

く、メンバーの奮起を促し、意思を尊重してバランスを調整することを実践し、幹部委員を中心に活動の環が広がるよう取り組んでいます。

Q4 会長のメッセージ

「素直で明瞭。裏表ない会長」を心がけています。さまざまな判断を幹部委員に頼るようしており、委員が活動しやすい環境づくりを目指しています。

最後に、『12月10日には坂町のSunstar Hall(サンスターホール)で広島県公衆衛生大会が開催されます。行き届かない点もあろうかと思いますが、どうぞ大勢でご来場ください。交流を深め、共によりよい活動づくりに繋がってまいりましょう。』

(地域活動支援センター)

広島県環境政策課